

第2号
平成16年11月1日
発行
ボランティア・NPO
情報紙編集委員会

ボランティア・NPO 情報紙なるど

連絡先
鳴門市ボランティア
連絡協議会
☎685-7170
鳴門市市民活動推進課
☎684-1189

NPO・ボランティア交流研修会開かれる

去る9月5日(日)、北灘漁協栗田支所において第3回鳴門市NPO・ボランティア交流研修会が開催されました。NPO法人やボランティア団体、地区自治振興会のほか社会福祉協議会、市職員など総勢45名が出席。

午前中は関係者の自己紹介、参加団体の近況報告、新NPO法人の紹介などが行われました。そのあと参加者たちはNPO法人ハーモニー「人・豊かな街づくり」の女性部の皆さんが、とりたての魚で調理してくれた料理に舌鼓を打ちつつ歓談を楽しみました。

午後からは研修会のテーマである「まちづくり」に関して、まちづくりサークル大塚、ボランティア鳴門西、ハーモニー「人・豊かな街づくり」の3NPO法人が実践報告を行いました。参加者たちはNPO法人と地域団体が連携することにより大きな成果が得られることを聞いて、会場からは賞賛とともに活発な質問が相次ぎました。

こうした活動報告や意見交換を通して、市内の社会貢献団体がお互いに共感し合える充実した交流会でした。



活発な意見交換をする参加者



まちづくりの発表を行うNPO法人の会員

JCIがIT活用の障害者自立支援へ新展開

NPO法人「JCIテレワークス・ネットワーク」は、マイクロソフト社の社会貢献活動であるUPプログラムの日本拠点として認定され、このほど徳島県の後援のもとで「徳島UPプログラム」を開始することになりました。

UPプログラムは、障害者や、これまでITを活用する機会が少なかった人々を対象に、IT研修を通じて技術の向上を図り、自己の可能性を引き出しつつ、さまざまな形で自己実現を果たしていけるよう支援することを目的とした社会貢献活動です。JCIは今後、マイクロソフト社からソフトウェアの提供や専門家の派遣などの

サポートを受けながら、従来の活動を更に発展させていくことにしています。



JCI・県・マイクロソフト社による共同発表

—福祉レクリエーション活動のすすめ—



近年、わが国では、ボランティア活動の推進が社会政策の中心に据えられようとしています。ボランティアの数を増やすことも重要な施策の一つになっています。ちなみに平成13年度に策定された「徳島県のボランティア活動推進計画」では、平成10年度に約9万人であった県内のボランティアを、平成18年度には約21万人にしたいとしています。

社会には心身の障害や生活上の諸問題によって、レクリエーションに参加することが困難な人たちがたくさんいます。この人たちのために専門家やボランティアが行っている活動を「福祉レクリエーション」と言っています。

私はボランティアを増やそうとする施策の中で“福祉レクリエーション運動の展開”は、とても効果があると思っています。

それは「この活動には多くの人が入りやすい」ということと、「福祉レクリエーション・サービスに対する社会的ニーズが非常に高い」という二つの利点があるからです。周知のとおりレクリエーションというのは、安らぎとか生き甲斐のために必要なものであり、誰でもその人の個性に応じて行うことができます。ですから自分のレクリエーションの持ち味を生かして、他者がレクリエーションを楽しむことを援助することは比較的取り組みやすいのです。音楽に堪能な人が福祉施設で音楽療法によって利用者の心を癒したり、絵を描く趣味を持っている人がアート・セラピーで活躍している例もあります。

ここ数年、良質の「福祉レクリエーション・サービス」に対するニーズは大きな高まりを見せています。ボランティアを増やしたいという時代の要請に応えつつ、自らの学びのための人生設計として「福祉レクリエーション・ボランティア」の活動に多くの方が参加してくださることを強く期待しています。なお後日、「福祉レクリエーション・ボランティア学習会」を開催しますので、その節はふるってご参加ください。

生きがい支援事業所の開設

地域交流の会コスモスはうす

「コスモスはうす」はNPO法人として今年で4年目を迎えますが、この8月から鳴門市で7番目の「生きがい支援事業所」として認められ、地域の皆さんのご要望に答えることができるようになりました。

これまで既に2回開設し、食事、お手玉教室、折り紙教室、健康体操教室、読み聞かせ教室、パソコン教室、映画上映など多彩な内容で利用者の方々に喜んでいただいています。

これからも利用者のニーズに合わせ、当事業所の創意と工夫によってますます充実させていきたいと考えています。

宅老所の利用も年々増加の傾向にありますので、この活動をお手伝いくださる方を募集しています。短時間でも結構ですので、ご協力いただける方はご連絡ください。

(☎ 689-2510, 689-0417)



宅老所での活動風景

コスモスの花でリュネブルグ市使節団を歓迎

鳴門市花街道・地域づくりネットワーク

鳴門市花街道・地域づくりネットワークは、ドイツの姉妹都市リュネブルグ市の親善使節団を温かく迎える歓迎行事を10月10日から13日まで、市内各地で行いました。

木津元村や黒崎に設けられたコスモス祭りの交流接待所やドイツ村公園、ドイツ館敷地内の「第九の森」などで、ネットワークの会員である地元団体の皆さんや小学生が、ドイツの小旗を振ったり、ドイツ語で書いた横断幕を掲げて使節団員39名を歓迎しました。

また、すだち湯やコーヒー、お菓子などでもてなし、一人ひとりに手づくりの小物やコスモスの花をプレゼントしながら、通訳を交えたり、片言の英語と身振り手振りで話したりして交流を深めました。使節団長のメドケ市長と「ネットワーク」の中西会長は、それぞれドイツと日本のコスモスの種などを交換し友好を深めました。



使節団を見送る花街道の皆さん



日独のコスモスの種を交換して交流

このほか、コスモスを咲かせている基幹農道や黒崎バイパスでは、使節団がバスで通過する際に車中で「ネットワーク」の取り組みが紹介されました。

今年は度重なる台風の襲来でコスモスの種が流されたり、小さな苗が倒れたりして、何回か種をまき直す地区もあり、使節団の滞在中のコスモスの開花は多くありませんでした。しかし、使節団が立ち寄る接待所やお別れの会場には、満開のプランターや切り花を運び込み、使節団員を温かく迎えました。

こうした市民の気持ちが伝わり、メドケ市長はお別れの会で、「コスモスの花グループの皆さんの温かい気持ちに感謝します」とのお礼のあいさつをされ、参加者たちは日独交流の輪が一段と広がったことを実感した歓迎行事でした。

信頼されるNPO法人七つの条件

(その一)

「明確なミッションを持って、継続的な事業展開をしていること」

NPOが目指す活動の目的を、分かりやすい言葉によって明らかにしていることが大切です。

それは、その活動によってどんな社会的な変化をもたらそうとしているのかなど、できるだけ具体的に明文化している必要があります。

さらに、活動目的にそった事業を適切に行っていることが重要なポイントになります。

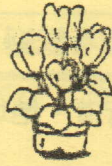
またその事業によって、質のよいサービスを安定的・継続的に提供していることも望まれます。

そのためには、事業を実施するための中・長期的な事業計画を持ち、それを客観的に評価しつつ、タイムリーな見直しをしていくことも重要でしょう。

(民間NPO支援センター・

将来を展望する会)

お知らせ



● 第3回四国NPOフォーラム

みんなでつくる地域の幸せ——助け合い、
支え合い、分かち合うことで、豊かな社会
を築き、幸せづくりをしましょう。

開催場所：徳島大学常三島キャンパス
共通講義棟

開催日時：11月13日(土) 13:30~
17:30

*基調講演：堀田 力氏
(さわやか福祉財団)

*フリップ・ディスカッション

11月14日(日) 9:30~16:30

*分科会(6グループ)と特別セミナー

*パネル・ディスカッション

● 「ふくろうの森」オープン参加行事

*「世界のバリアフリー絵本展」入場無料
11/3(祝)~11/7(日) 図書館ロビー

*講演会

「だれでも楽しめる絵本づくりをめざして」
入場無料 11/7(日) 13:30~15:00
図書館2階視聴覚室

*第2回図書館に本を贈るための「チャ
リティーバザー」

11/13(土) 10:00~15:00
図書館前庭 (小雨決行)

● 鳴門「第九」を歌う会行事

モーツァルトの「戴冠ミサ」を歌う！
芸術の秋、コスモスの里から心癒すモ
ーツァルトの調べをお送りします。

開催場所：鳴門市ドイツ館大会議室

開催日時：11月23日(火) 勤労感謝
の日 14:00~

*出演：(指揮) 山田啓明、
(独唱) 酒井美里ほか
(合唱) 鳴門「第九」を歌う会
合唱団「コーラス9」

*入場料 一般800円、中学生以下500円

*問い合わせ：鳴門「第九」を歌う会事務局
(☎ 686-1296)

● 「ボランティア鳴門西」オープン参加行事

*「EMひろば鳴門西」生ごみの堆肥や生
活廃水浄化のため、EM(有効微生物群)
の活用事例の報告や情報の提供を行う懇
話会・実技講習会

実施場所：鳴門公民館

実施日時：11月13日(土)、12月11日(土)
13:30~15:30

連絡事項：申し込みは鳴門公民館

☎ 687-1528

● 2004 アムウェイ クリーンアップ in 鳴門

全国の海岸でごみを回収する環境保護活
動です。

実施場所：鳴門公園内 網干駐車場前海岸

実施日時：11月14日(日)

9:30~10:00 受付

連絡事項：参加希望者は当日上記場所へお
越しください。

問い合わせは鳴門公民館まで。

活動紹介

しあわせの里ボランティア・ グループ「コンパス」

住所：大麻町松字東山田14-3

連絡：しあわせの里

☎ 689-1777

FAX 689-1778

内容：夏休み親子映画会、地域ボランティ
アへの協力、鳴門V協への協力、
「しあわせの里」利用者の外出支援
など。

「コンパス」は、しあわせの里の職員と
OBで結成されており、会員数は少ない
ですが地道にやっています。一点を拠点
として、円を描くコンパスのように福祉
の広がり願って名付けました。



リサイクル山田

住所：大麻町板東字大村33-6

連絡：佐藤由紀

☎・FAX 689-1135

内容：資源ごみのリサイクル運動、
ごみステーションの管理と搬出、
ごみ分別の取組みの資料づくりなど。

環境・人・お尻にやさしいトイレッ
ト・ペーパーとなって返ってくる雑古紙
の回収をしています。

また現在、EMボカシを使って生ごみ
を土にかえし、エコ農園づくりを計画し
ています。(参加者募集)

